

## 総務常任委員会議案審査報告書

1. 第 74 号議案 町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 85 号議案 生涯学習センター機械設備改修工事請負契約
1. 第 98 号議案 堺市民センター改修工事請負契約
1. 第 67 号議案 令和6年度（2024年度）町田市一般会計補正予算（第3号）

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和5年度（2023年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

(歳出)

総務費

- (1) 公文書管理における一般職員研修の充実は引き続き取り組むとともに、専門職としてのアーキビスト養成についても検討されたい。
- (2) 文書送付の利用基準をさらに厳格化し、電子メールなどの方法を拡充し、経費の削減に取り組まれたい。
- (3) 人事制度に関しては、町田未来づくり研究所の提言を参考にされたい。
- (4) 人事考課表については、人材育成基本計画など、その時々の方針や目標にあった内容になるよう、定期的に見直しを図られたい。
- (5) メンタルヘルス対策には産業医はもちろん、保健師や、精神保健福祉士などの専門職の活用に努められたい。
- (6) 障がい者雇用率向上について各課での仕事の切り出しなど一層の取組強化等で障害者雇用促進法法定雇用率未達成の早期解消に努められたい。

- (7) 正規職員の採用に関して、引き続き氷河期世代の人員採用を継続するとともに、その人数も拡充するよう取り組まれない。
- (8) 住民からの情報要求に関して、可能な限り、情報提供の方法によるサービスを拡充するよう図られたい。
- (9) 市内事業者の受注率向上に一層取り組み、特にPFI事業をはじめとした官民連携事業においては工事請負契約の市内事業者参画を積極的に進められたい。
- (10) 受注企業の障害者雇用促進法などの法令順守の確認に努められたい。
- (11) 広報活動に関する意識調査については、市民意識調査など別のアンケートと一緒に行う等、期待される効果はそのままに、実施にかかる費用を下げられないか研究されたい。
- (12) 広告収入の増加に努め、ネット時代に即応したより効果的な広報手段の拡大と、広報紙配布方法の低コスト化の選択を図られたい。
- (13) 市長への手紙については、他自治体の状況を参考にして、内容の公開を今以上に進めるとともに、傾向分析についてはジェネレーティブAIを活用し偏りなく効率的に行い政策立案の参考にされたい。
- (14) 専門相談については、件数を増やすことも大切だが、士業の方々に無理なく継続していただけるよう、休憩時間の確保や記録の記入内容など、士業の皆様の意見を聞き負担軽減について研究されたい。
- (15) 庁舎総合案内の満足度調査の評価に、合理的配慮やユニバーサルマナーといった視点の反映がなされているか点検されたい。
- (16) オンラインを可能とした行政手続きに累計件数とともにその利用状況についても成果指標とすることを検討されたい。
- (17) デジタルやAIを活用し、引っ越しやおくやみ（死亡・相続）など暮らしに身近な手続きのワンストップサービス化の早期実現を目指し引き続き調査検討されたい。
- (18) 町田市の数量順位比較に関して、多摩地域26市で比較するべきものと、同規模都市と比較するべきものを整理し、合理的に分かりやすく説明されたい。
- (19) 会計課の資金の運用に関して、金利の動向を注視しながら、より安定した収益が見込める債券の保持を図られたい。
- (20) 行政財産に設置されている売店と自販機について、社会福祉法・母子父子寡婦福祉法の趣旨に則り、特に指定管理者には法の趣旨を理解していただき推進されたい。
- (21) 次世代自動車導入が年間ゼロとならぬようリースのみでなく様々な方法を検討し推進されたい。
- (22) 自治体シンクタンクの未来づくり研究所については、提言の内容がどれだけ実現できているか検証されたい。
- (23) いじめ問題調査委員会の答申で指摘のあった内容については、市長部局に関わる部分だけでなく学校教育部に関わる部分についても、政策経営部においてその指摘の内容の改善状況を確認し、庁内一体となって連携の上、課題解決に努められたい。
- (24) 市民意識調査については、膨大な自由記述欄の内容の要約や課題の抽出にジェネレーティブAIを活用し、偏りなく効率的に市民の意見をまとめられたい。

- (25) 中核市候補市の施策に関して、候補市の町田市が情報を得るだけでなく、既存の中核市とお互いに寄与する視点を持って、対応されるように努められたい。
- (26) 交通安全推進協議会については、欠員が出ることがないように、諸団体からの選出がない場合には別の団体や公募などからの選出で欠員をなくす努力をされたい。
- (27) 交通安全の啓発については、啓発人数が増えても事故が増加しているのはどのような要因があるのかを分析の上で、より効果のある事故予防施策について研究されたい。
- (28) 交通少年団との協働に努められたい。
- (29) 世代別の一人当たりの納税額の特徴に即して、納税額と割合の向上の課題把握に努め、市民に分かりやすく公表されたい。
- (30) 固定資産税・都市計画税など市税請求におけるデジタル化によるサービス向上や発行・発送コスト縮減について調査検討されたい。
- (31) 明るい選挙推進委員の増員と活動の充実に努められたい。
- (32) 障がいのある方や高齢者の投票における配慮への理解を進めるため、市の取組について広く周知啓発に努められたい。
- (33) 公開したオープンデータファイルの件数を増やすとともに、市民のオープンデータの利活用への理解が進むよう具体的な事例についても積極的な情報発信に努められたい。
- (34) 監査事務局の加除図書に関して、現状に即してデジタルデータ化の検討を図られたい。

#### 労働費

- (35) 町田市勤労者福祉サービスセンターについては加入事業所数の増加に努め、商工会議所をはじめとした他団体との連携など外部との積極的な情報交換を行い、ニーズの掘り起こしも行うよう検討されたい。
- (36) 町田市勤労者福祉サービスセンターについて、フリーランス・個人事業主が増加傾向であることを踏まえ、改革に努められたい。

#### 農林費

- (37) 市街化調整区域内の遊休農地に関して、農業の発展拡大に寄与する観点から必要な整備が拡充するように図られたい。

#### 商工費

- (38) 物価高騰の影響を受けた事業者への負担軽減支援について、中長期的な取組も検討されたい。
- (39) 商工業の振興について、東京都の補助金事業を市民が使う場合に市内事業者が受注できるよう取り組まれたい。
- (40) 中心市街地歩行者通行量の目標設定に関しては、一律に長期目標を毎年固定して設定しているが、現実に即して中期的な目標数値を具体化して設定し、現状の政策課題に反映されるように改善を図られたい。
- (41) 町田ターミナルプラザにおけるアーティストの活動に関して、夜の時間が十分に利用

されておらず、若者に人気を博して活用されるよう広報改善と使いやすい環境改善を図られたい。

- (42) 原町田一丁目駐車場と町田ターミナルは中心市街地における貴重な収益をもたらす行政財産であり、できるだけ長寿命化を図り、使用料収入の着実な維持と利用者の利便性確保を図られたい。

#### 消防費

- (43) 消防団の魅力向上の手段として、活動に役立つ資格取得の補助の充実を検討されたい。
- (44) 町田市は消防団員の必要人数確保を優先している現状から、募集要領や広報案内等に年齢や世代を求めない趣旨のPR方法に改善を図られたい。
- (45) 消防団への交付金については、交付金の支出ルールについてわかりやすく整理をされたい。
- (46) 団運営費などは物価上昇分も踏まえ充実を図られたい。
- (47) 昨今の災害状況と団本部との協議で、装備・被服（費）の充実に応えられたい。
- (48) 消防団においては、機能別団員の制度について調査、研究をされたい。
- (49) 消防団については、実際に支援が必要な際に対応ができるかという視点を大切にしてい、団員の確保に努められたい。
- (50) 学生消防団活動認証制度については、交付状況、活用状況についての把握に努め、より活用が進むような施策を検討されたい。
- (51) 自主防災組織については、自治会やマンション単位ではない組織での立ち上げも想定した制度設計や、最低世帯数についての検討に努められたい。
- (52) 親子防災講座の実施については、その内容と実施場所について、より子育て世代の需要を意識して行われたい。
- (53) 消防少年団との協働に努められたい。
- (54) 液体ミルクや女性に向けた備蓄品等の充実に一層努められたい。

2024年9月17日

総務常任委員長  
村 松 としたか

町田市議会議長  
木目田 英男 様

## 健康福祉常任委員会議案審査報告書

1. 第 90 号議案 町田市美術工芸館の指定管理者の指定について
1. 第 97 号議案 町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例
1. 第 67 号議案 令和6年度（2024年度）町田市一般会計補正予算（第3号）
1. 第 68 号議案 令和6年度（2024年度）町田市国民健康保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 69 号議案 令和6年度（2024年度）町田市介護保険事業会計補正予算（第1号）
1. 第 70 号議案 令和6年度（2024年度）町田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）
1. 第 73 号議案 令和6年度（2024年度）町田市病院事業会計補正予算（第1号）

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和5年度（2023年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

（歳出）

民生費

- （1）まちだ福祉〇（まる）ごとサポートセンターにおいてこれまで行政に関わっていなかった方にもアプローチを行い、困りごと相談につなげていくよう努められたい。
- （2）まちだ福祉〇（まる）ごとサポートセンターの運営においては、設置地域の人口に比例した人員増を検討されたい。
- （3）民生委員の欠員の充足に向けて、積極的な取組を推進されたい。
- （4）せりがや会館の閉館の予定に対し、利用団体への丁寧な対応、しっかりと相談に乗っ

ていくよう努められたい。

- (5) 地域活動支援センター「まちプラ」については、設置箇所の拡充も含め、さらなる利用者増のため、検討されたい。
- (6) 立ち入り調査の結果を活かして、研修を行うなど、市内事業所全体の質の向上に努められたい。
- (7) 民営化した、こころみ事業については、障がいがある方の働く場として、魅力ある場となり、工賃のアップにより、生きがいと自立につなげることが大事である、商品のブランディング化をはかるなど、運営法人と共に、さらにマーケティングに力を入れられたい。
- (8) リス園のリニューアルや施設の位置付け等のあり方の整理においては、利用者、運営法人などの要望をしっかりと聞いていくよう努められたい。
- (9) 重度身体障がい者訪問入浴事業において、夏季の利用回数を増やすよう努められたい。
- (10) 障がい者施策推進協議会、障がい者差別解消条例検討部会、高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会において委員の欠席が多かったとあるが、大切な会議なので委員が出席しやすい環境を整えるよう努められたい。
- (11) 同行援護サービスにおいては利用実態を調査の上、より利用しやすい環境を整えるよう努められたい。
- (12) 福祉輸送サービスについて、希望する方のニーズに合わせて運行できるよう、ドライバーの補充については幅広く検討されたい。
- (13) 介護人材の確保について、継続的な取組も含めさらなる取組を推進されたい。
- (14) 介護人材開発事業について、63名が就労につながったが、若い世代の就労は少ない。若い年代に興味をもってもらえるような取組を研究されたい。
- (15) シルバーピアについては、高齢者住宅管理事業という目的を再認識し、事業における課題解決は、入居者内に孤立するのではなく、町田安心して暮らせるまちづくりプロジェクトにつなげるなどして、本来の事業目的である単身の高齢者や高齢者のみの世帯が、住み慣れた地域で安心して居住できる環境の提供により努められたい。
- (16) シルバーピアの団らん室については、利用時間が減少し不便になったという声がある。高齢者のコミュニティづくりの拠点にもなりうるため、利用の仕方について検討されたい。
- (17) 高齢者あんしんキーホルダーについて、緊急連絡先を登録できない、身寄りのない高齢者も登録できるような仕組みを検討されたい。
- (18) 生活保護受給者の増加や多様化により、業務が増えていることから、さらなる組織の強化と共に、ケースワーカーの業務については、ヒアリングを行うなど、増員を含めて、さらなる支援を検討されたい。
- (19) 正規職員の増員を含め、生活保護利用者へ、さらなる丁寧な対応、ケースワーカーの負担軽減のために努められたい。
- (20) 生活保護の無料低額宿泊所利用者については、居宅への移行支援を丁寧に行われたい。
- (21) 無料低額宿泊所の運営状況に課題があった際には、東京都、所在自治体との情報共有を強化し課題解決に努められたい。

- (22) 生活保護世帯の高校生へのアルバイトに関する冊子の配布など、就労収入の申告について分かりやすい説明を行うことに、さらに努められたい。
- (23) 自立支援の学習塾への補助については、必要とする世帯が多いことが予想されるため、対象者への周知の方法や利用のしやすさに課題がないか、不用額となった原因を研究したうえで利用の促進に努められたい。
- (24) 生活援護費の就労準備支援事業については、拠点の拡大とともに若者支援が必要と考える。庁内連携はもとより、より多くの人に情報が届くよう周知の仕方について検討されたい。

#### 衛生費

- (25) がん検診の受診率向上はもとより、精密検査受診率の向上、さらに精密検査結果を把握、場合によっては公表し、がんの早期発見、早期治療、がんによる死亡率減少につなげるよう、より努められたい。
- (26) 子宮頸がん検診の20代の受診率が低い。若い世代への周知活動として、和光大学での取組を市内の他大学にも広げるよう検討されたい。
- (27) 乳がん検診と子宮頸がん検診がセットで受診できる環境整備にさらに努められたい。
- (28) がん患者アピアランスケアなど医療保健政策包括事業については、重要に捉えて拡充されたい。
- (29) がん患者へのアピアランスケア事業においては、情報が必要な方に伝わり、より多くの方が利用できるよう、さらなる広報の工夫等に努められたい。
- (30) 総合的な自殺対策を進めるとともに、全国的にも増加傾向にある女性の対策については、全庁的に連携し、さらなる推進・強化に努められたい。
- (31) 産後ケアの実施事業所と市との報告会において、利用状況の把握と出された要望への対応を含め、より利用しやすい産後ケアになるよう努められたい。
- (32) 母子保健事業において、父親も育児の当事者として自覚を促すよう、父親参加が必要に応じて促進されるよう、発信、他部署との連携を強化されたい。
- (33) 両親学級の開催日程について、今後は土日枠の増加も検討されたい。
- (34) 妊婦健康診査事業においてはより多くの方が超音波検査を受けられるよう努められたい。
- (35) 外国人妊婦へ母子手帳を渡す際には、出産、育児に関する支援制度や日本の教育制度等の情報提供（英語だけでなく）の充実に努められたい。
- (36) こども商品券では利用状況実態が把握できない。利用状況が把握できるような制度を取り入れるよう検討されたい。
- (37) 予防接種の相互乗り入れ事業においては、横浜市など連携市を増やすよう努められたい。
- (38) 動物愛護のボランティア団体に対して、さらなる支援の充実に努められたい。
- (39) 狂犬病予防接種においては市が責任をもって主体的に取り組むよう努められたい。

## 2 特別会計

## 国民健康保険事業会計

- (40) 国保税滞納者に対しては丁寧な分納相談、他部署と連携して生活再建の支援につなげるよう努められたい。

## 介護保険事業会計

- (41) 介護予防の取組を引き続き推進し、増加する在宅で療養する高齢者へのサービスをより拡充し、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように努めると共に、結果として、介護保険料の抑制に努められたい。
- (42) 認知症家族介護者支援の取組をさらに充実されたい。
- (43) 認知症サポーターで地域活動の情報提供を希望し、登録している人が地域活動につながっていく取組を推進されたい。
- (44) 自立支援・配食ネットワーク事業の利用促進を図られたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

総 括

- (45) 有償ボランティアにおいては市内で統一の基準を作成するよう努められたい。
- (46) 適正な予算執行のために、流用・不用額の原因が発生した場合には早期に補正予算を組むように努められたい。

## 1. 認定第 3 号 令和5年度（2023年度）町田市病院事業会計決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

- (1) 適正な予算執行のために、流用・不用額の原因が発生した場合には早期に補正予算を組むように努められたい。
- (2) 内視鏡手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入等により、高度な医療サービスを提供することは、患者の治療・回復、満足度などに効果が現れている。さらに、副次的効果として、医師、看護師の確保、収益改善など病院経営改善にも貢献している。今後も積極的に生かされたい。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、決算額が前年度に比べ10億9千万円悪化し、前年度2億の利益から8億9千万円の損失となっている。しかし、医業収益が過

去最高額となるなど収益改善の兆しが見えている。今後も、中期経営計画にある健全経営の推進を図り、事業計画の目標に戻し、黒字化に向かって、収益の向上に、より努められたい。

- (4) 脳神経内科など、入院（手術）できない診療科がないように、引き続き医師、看護師の確保に努められたい。
- (5) 保育室においては、入院患者の子どもや兄弟姉妹が利用できるなど、柔軟な対応に努められたい。
- (6) 周産期医療センターにおいては、市民が安心して出産できるよう、より高度な医療が受けられるよう努められたい。
- (7) 医師や看護師が安心して育休・産休が取れるよう代替スタッフの速やかな補充など環境を整えるよう努められたい。
- (8) 職員給与においては年度末に1億円を超える不足が生じている。そのような事態が生じないよう努められたい。

2024年9月17日

健康福祉常任委員長  
松岡みゆき

町田市議会議長  
木目田英男様

健康福祉常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 14 号 心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業とする請願  
請願者 町田市原町田4-24-6 せりがや会館内  
町田市身体障がい者福祉協会  
会長 風間博明 外4, 133人

本委員会は、9月6日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

2024年9月17日

健康福祉常任委員長  
松岡みゆき

町田市議会議長  
木目田英男様

## 健康福祉常任委員会継続審査申出書

本委員会は、会議規則第111条の規定により下記のとおり閉会中もなお継続審査を要するものと決定しましたので申し出ます。

### 記

1. 請願第17号 加齢性難聴者の補聴器購入の助成を早期に求める請願

理由 ヒアリングケアシステムが動いているので、その様子を見たうえで判断したいため。

2024年9月17日

健康福祉常任委員長  
松岡みゆき

町田市議会議長  
木目田英男様

## 文教社会常任委員会議案審査報告書

1. 第 75 号議案 町田市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 78 号議案 町田市中学校給食センター条例
1. 第 79 号議案 町田市立図書館条例の一部を改正する条例
1. 第 80 号議案 相模原市と町田市との間における証明書の交付等の事務委託の廃止に関する協議について
1. 第 84 号議案 鶴川中学校中規模改修機械設備工事 I 期請負契約
1. 第 86 号議案 町田第一中学校体育館・プール棟給排水衛生設備改修工事請負契約
1. 第 91 号議案 三輪子どもクラブの指定管理者の指定について
1. 第 92 号議案 木曾学童保育クラブ外 11 施設の指定管理者の指定について
1. 第 93 号議案 大戸のびっ子学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 94 号議案 小山中央学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 95 号議案 南つくし野学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 96 号議案 山崎学童保育クラブの指定管理者の指定について
1. 第 99 号議案 (仮称) 町田市中学校給食センター整備・運営事業契約の変更契約
1. 第 67 号議案 令和 6 年度 (2024 年度) 町田市一般会計補正予算 (第 3 号)

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和 5 年度 (2023 年度) 町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

(歳入)

- (1) 学校への寄付者の公開について、単年度ではなく継続して公開を行うことで、より多くの寄付が集まるよう工夫されたい。

- (2) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、今後も国に対して交付金の要望をされたい。
- (3) 国際版画美術館費の収入目標を達成するよう努力されたい。

#### (歳出)

##### 総務費

- (4) 市民センター、コミュニティセンターの会議室が空いている場合は、クーリングシェルトアの拡充などで一般開放を日中も行うなど、施設を有効に活用されたい。
- (5) 施設利用の促進は、より多くの方にご利用いただけるよう、事業の周知などに取り組みされたい。
- (6) 集会施設事業について、今後集会所の老朽化対策として修繕が必要となってくる。より予算措置を含めて修繕を効率的に行える事業体制を構築されたい。
- (7) デジタル町内会「いちのいち」は、今後も町内会・自治会に寄り添いながら丁寧に進められたい。
- (8) 開発行為により取得した8用地を速やかに売却されたい。
- (9) 引き続き行政窓口の満足度向上に向けて、積極的に取り組まれたい。
- (10) 窓口申請支援システム等については、ワンストップ窓口のようなニーズに対応した利便性向上に努められたい。
- (11) 年明けにマイナンバーカードセンターが閉所した後も、円滑に手続きが行えるよう準備をされたい。

##### 民生費

- (12) 子どもにやさしいまちの実現に向け、周知・啓発活動に取り組まれたい。
- (13) 一時保育については、利用したい人が利用できないケースがあることから、ファミサポやベビーシッター等、他の保育サービスにおいて補完できるよう取り組まれたい。
- (14) 一時保育の実施園としつつも、実際の実施回数が0回等、極端に少ない園には事情を確認し、受け入れが実際には困難なのであれば実施園として公開しないよう、利用者目線での情報公開を進められたい。
- (15) 一時預かり事業は、利用者の保育ニーズに応えられるよう努められたい。
- (16) 保育士確保の支援事業について、保育園側のご意見をいただきながら、効果的な支援事業となるよう、取り組まれたい。
- (17) 保育コンシェルジュ業務は、保育の質向上のため、増員されたい。
- (18) 保育園・幼稚園事業において、市が把握した不適切保育に関する情報は、関係機関と迅速に情報共有し、子どもの安全安心な保育環境を維持されたい。
- (19) 病児・病後児保育は、要望者の利便性向上のため引き続き事業の周知を図り、進める上で医師会とも連携を強化されたい。
- (20) 地域子育て相談センターにおけるマイ保育園事業は、事業の意義を保護者に周知し、保護者同士の子育てに関する情報共有・意見交換の場としての利用拡大に努められたい。

- (21) ヤングケアラー相談支援事業について、相談内容に応じた効果的な支援事業を検討されたい。
- (22) 子ども食堂事業について、運営団体からの意見を集約し、より効果的な事業となるよう努められたい。また、新たに食堂の運営を希望される団体にスムーズに運営できるよう、運営場所などの選定などについても支援をされたい。
- (23) おうちでごはん事業の調理体制や配達状況は、給食センターなどと連携しながら、充実するように図られたい。
- (24) ショートステイ、トワイライトステイについては、利用者ニーズに応えられるよう、対応可能件数の増加を図られたい。
- (25) 学童保育事業における育成料については、保護者負担の軽減を考慮し、日割り計算での利用を検討されたい。
- (26) 大規模化が進む学童保育クラブで専門的な知識や経験を持った支援員の確保ができるよう努められたい。
- (27) 学童保育事業において、児童ひとり当たりの育成スペース確保が適正に行われているかを指定管理者に確認されたい。
- (28) 学校再編に伴う、学童保育クラブの対応について、関係者との意見交換・情報共有を積極的に行い進められたい。また、学校再編等により大規模化する学童保育クラブに対し、施設改修や分散化等も含め対応をされたい。
- (29) 学童保育事業においては、児童の安全安心の利用、また支援員の業務改善のための入退室管理のICT化のための予算化を検討されたい。
- (30) 「まちだ若者大作戦」の取組としては、細やかな対応と充実を図り、引き続き検討されたい。
- (31) 放課後子ども教室まちとも推進事業は、スタッフ負担軽減のためにあらゆる方法を検討され、人員確保に努められたい。
- (32) 子どもセンター「つるっこ」運営事業においては、利用者アンケートを行い、子ども、保護者の安全安心の利用に資するよう、施設と遊具の更新の検討を行われたい。
- (33) 川上村自然休暇村については、事業収益を上げるよう、より一層取り組まれたい。
- (34) 川上村自然休暇村について、成果目標の数値に関しては、実態に合わせて示されたい。
- (35) 町田市・川上村の市民・村民がより身近になるようなPRを強化されたい。
- (36) 利用者が安全安心に利用できるよう、施設の修繕を計画的に行い、さらに利用者の獲得に向けてあらゆる方法を検討されたい。
- (37) 子ども発達センターの維持補修は、新しい施設への移転まで、しっかりと修繕を実施されたい。

#### 商工費

- (38) 消費生活相談事業においては、高齢者支援センター並びに関連施設との連携をさらに進めるとともに、警察などとの連携も検討されたい。
- (39) 消費生活に関する被害の未然防止のため、大学や中学校での出前学習会に加え、高校生を対象とした啓発も検討されたい。

## 教育費

- (40) 校長会からの要望について、予算化に努められたい。
- (41) 学校の印刷機について、機能の充実や台数の確保などで教員の負担軽減に努められたい。
- (42) 副校長補佐の配置については、改めて、意義の理解をすすめ成果を確認されたい。
- (43) 個別分析については、時間外など教員の負担軽減の成果を経年で見られるような指標を検討されたい。
- (44) 「町田市立小中学校プール整備方針」について、早急に地域や保護者、生徒などへの情報共有や意見交換を進められたい。
- (45) 学校教育部においては、プール授業における学校現場での児童生徒への熱中症対策ややけど対策を把握し、教育委員会として、対策を検討されたい。
- (46) 小学校施設事業において、生徒・保護者・関係者、特に計画変更が行われた鶴川東地区統合新設校の対象地域においては丁寧な情報周知と事業説明を行われたい。
- (47) 新たな学校づくり推進計画について、保護者や子ども達の通学路環境への不安解消のため、スクールバスの積極的導入を図られたい。
- (48) 新たな学校づくりの今後の学校統合等に向けて、通学路の安全対策及び通学区域の最適化については、地域の実情に合わせての強化や、早期的な取組に努められたい。
- (49) 学務課においては、就学援助制度のオンライン申請の周知を保護者に徹底し、さらなる市民の利便性向上に努められたい。
- (50) 健康に配慮した豊かな食生活を営めるよう野菜摂取量推定器の活用を拡げられたい。
- (51) 都の補助を有効に活用し、給食費全額補助を早急に実施されたい。
- (52) 学校給食事業においては、さらに食育推進費を活用し、保護者負担の軽減を図られたい。
- (53) 保健給食課においては、給食費の収納状況を、関係部署と情報共有を行い、保護者に適切なサービス接続を案内されたい。
- (54) 小学校の調理室について、昨今の異常気象を加味して空調整備を積極的に進められたい。
- (55) hyper-Q Uについて、幅広い学年での活用と、児童生徒の声が届きやすい仕組みを検討し、いじめや不登校への対策ツールを導入する等、わかりやすく活用されたい。
- (56) 各小中学校の図書室を含めた特別支援教室にWi-Fi環境の整備をされたい。
- (57) ボランティアコーディネーターの活動実績で日数・時間・謝礼額がゼロの小学校がある。補充体制をつくられたい。
- (58) 学校図書館のボランティア支援員について、支援員の勤務状況を把握し、図書館司書の配置も含めて環境改善を図られたい。
- (59) 発達検査用の備品調達時期を逸することのないよう計画的に調達されたい。
- (60) 校内教育支援センターは、今後も継続するとともに希望する学校にも拡充されたい。その際、国や都の補助については有効に活用されたい。

- (61) 中学校教育支援センター事業においては、くすのき教室の在籍生徒の需要拡大の現状においても、子どもの学びの機会の確保のため、最新の児童生徒の状況を踏まえ、適切な教室配置に取り組まれない。
- (62) 不登校の状態にある児童生徒の教育支援センターへの通室が、社会的自立の一步である上位校進学へつながること、また、その実績があることを、生徒や保護者に十分に周知されたい。
- (63) 分教室型学びの多様化学校の開設準備を進めて、ニーズに対応した学びの場の確保に取り組まれない。
- (64) オンライン授業の実施件数が極端に少ない学校に対しては、実施状況について個別に確認を行い、実施が困難な理由などがあれば適切な支援・助言等を実施されたい。
- (65) 母語による日本語指導が可能な民間事業者と有償ボランティアの明確なすみ分けをするように図られたい。
- (66) 外国人児童数・生徒数が急激に増えている。児童・生徒の不安等を取り除く体制を築かれたい。
- (67) 新たな学校づくり推進計画について、今後も児童生徒・保護者・地域へのご意見を伺う機会や意見表明機会を設けられたい。
- (68) デジタルミュージアムは、どこでも町田の歴史に親しんでもらえるよう、今後も工夫されたい。
- (69) 考古資料室については、地域でイベントが開催される際には、一体で周知を図られたい。
- (70) 考古資料に対する好奇心は高い。アウトリーチ展示開催件数を増やしていただきたい。
- (71) 文化振興の学校連携事業が、「町田のあたりまえ」の実現に向けてさらに取り組まれたい。
- (72) パークミュージアム事業は、引き続き住民に対して丁寧な対応をされたい。
- (73) (仮称)国際工芸美術館整備工事について、3回の入札中止を踏まえ、これまで以上に近隣住民や関係者団体への開かれた説明を行われたい。
- (74) (仮称)町田市文化芸術のまちづくり計画は、よく調査され、多くの方の共感を得るよう計画されたい。
- (75) 障がい者青年学級は町田の特色ある事業であり、現在の事業を継続されたい。
- (76) 生涯学習センターの「学びテラス」は、読み書き計算など基礎的な学習の場であり、必要な人が学べる機会として充実されたい。
- (77) デジタルデバインド対策は、市民がもっとデジタルを身近に感じられるよう、今後も取り組まれたい。
- (78) デジタルデバインド対策の一環で行われている「出張なんでもスマホ相談室」は、町内会や団地自治会などと連携し、市民が利用しやすい開催場所を検討されたい。
- (79) 町田第一中学校で行われている地域団体に向けた特別教室の貸出や図書室を学習スペースとして個人開放している事業を他の地域の学校でも行えるよう検討されたい。
- (80) 新たな『町田市史』編さん事業について、より体制強化を図り、早期の編さんに向けて取り組まれたい。

- (81) 「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」について、デジタル対応の強化や移動図書館の充実、学校図書館との連携などを積極的に進め、より市民に身近な図書館となるよう、取り組まれない。
- (82) 図書館の開館時間・休館日については、市民が利用しやすくなるよう、改善されたい。
- (83) 図書館の資料や蔵書については、さらに充実を図られたい。
- (84) さるびあ図書館事業は、引き続き地域の方々との丁寧な意見交換をされたい。
- (85) 鶴川図書コミュニティ施設事業においては、運営団体と丁寧に意見交換を行われたい。
- (86) 文学館の1階のニーズが高いため、蔵書の拡充を図られたい。
- (87) 文学館は、引き続き多くの市民が町田市へ愛着や誇りを持つきっかけとなるような展覧会を開催されたい。
- (88) 「ことばらんどショートショートコンクール」の出張授業を増やし、26市唯一の文学館をアピールされたい。
- (89) 国際版画美術館費のキャッシュレス決済導入は、積極的に進められたい。
- (90) 「室内プール・温浴施設」、「バイオエネルギーセンター」、「忠生スポーツ公園」については、引き続き、地域住民・団体・組織の声を聞いて柔軟に連携されたい。
- (91) スポーツ振興のホームタウンチームの支援を、さらに強化されたい。
- (92) 「する」スポーツの環境整備について、目標数値を明確にし、目的達成に向けて取り組まれたい。
- (93) 総合体育館の修繕は、市民スポーツの「する」「みる」場の提供のために修繕を強化されたい。
- (94) 町田市立総合体育館について、老朽化対策として大規模改修を行う際には、スポーツ団体及び関係諸団体との協議を十分に行い進められたい。
- (95) 野津田公園大型イベント環境整備事業の来場者バス輸送委託料は、財政負担軽減のため、受益者負担を検討されたい。
- (96) 野津田公園大型イベント環境整備事業の来場者バス輸送委託料は、事業の安定的な持続のため、他部署とも連携し、事業の在り方を検討されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

民生費

- (97) 公有財産の未使用地は、売却方針のこと、速やかな売却を進められたい。

教育費

- (98) 築約50年が経過する市民ホールについて、今後の在り方を早期に検討されたい。また、検討される際には、「町田駅周辺開発推進計画」との整合性も加味し、庁内での協議を積極的に行われたい。

2024年9月19日

文教社会常任委員長  
佐々木 智 子

町田市議会議長  
木目田 英 男 様

文教社会常任委員会請願審査報告書

1. 請願第 15 号 本町田地区・南成瀬地区小学校の統廃合計画の「要求水準書」において心身の発達を大切にして校舎面積と同様に「運動場の面積」も「小学校設置基準」（文部科学省令）を充たす努力を求める請願

請願者 町田市南成瀬 8-15-7  
豊かな教育と公正な税金の運用を求める会  
事務局 佐藤 和行

本委員会は、9月6日付託された上記請願審査の結果、「採択の上執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 請願第 18 号 子どもたちが学校統廃合に臨めるようになるまで PFI 契約の延期を求める請願

請願者 町田市本町田 1864-13  
荒井 利行

本委員会は、9月6日付託された上記請願審査の結果、「不採択すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

2024年9月19日

文教社会常任委員長  
佐々木 智子

町田市議会議長  
木目田 英男 様

## 建設常任委員会議案審査報告書

1. 第 76 号議案 町田市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例
1. 第 77 号議案 町田市下水道条例の一部を改正する条例
1. 第 88 号議案 市道路線の認定について
1. 第 89 号議案 市道路線の廃止について
1. 第 67 号議案 令和 6 年度（2024 年度）町田市一般会計補正予算（第 3 号）
1. 第 71 号議案 令和 6 年度（2024 年度）町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計補正予算（第 1 号）
1. 第 72 号議案 令和 6 年度（2024 年度）町田市下水道事業会計補正予算（第 1 号）

本委員会は、9 月 6 日付託された上記議案審査の結果、「原案を可決すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

1. 認定第 1 号 令和 5 年度（2023 年度）町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について

本委員会は、9 月 6 日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

### 記

次の意見は、全員一致をもって可決したものである。

#### 1 一般会計

##### （歳出）

##### 衛生費

- （1）大型生ごみ処理機については維持できるよう対策を講じられたい。
- （2）指定喫煙所に寄せられている市民からの苦情に応えるため、新たな受動喫煙対策を速やかに実現されたい。
- （3）資源とごみの収集量は漸減傾向にあるが、なお一層ごみの収集量を減少させるべく努められたい。
- （4）不法投棄のパトロール箇所を増やすよう努められたい。
- （5）ふれあい収集についてはケアマネだけでなく、対象者の家族も含めた幅広い市民に対

する周知に努められたい。

- (6) バイオエネルギーセンターでのリチウムイオン電池による火災対策のため、除去の機械化のほか、脱着型電池パックの啓発活動強化や集積所回収なども検討されたい。
- (7) 容器包装プラスチック資源化の市内全域展開を機に、分別協力率向上にさらに注力されたい。
- (8) 剪定枝資源化センターについては利用状況、老朽化の状況などを鑑み、あり方を含め今後についてしっかりと検討されたい。

#### 土木費

- (9) 無電柱化推進事業の街路樹の植栽にあたっては、温暖化対策や日陰効果、景観も視野に入れた検討を行われたい。
- (10) みちづくり・まちづくりパートナー事業（小野路）の早期整備に努められたい。
- (11) みちづくり・まちづくりパートナー事業（都計道3・4・11号原町田）にあたっては、関係権利者に寄り添った対応をされたい。
- (12) 道路通報システムが活用され、道路通報件数が増加する中で、市民への対応をより効率的に行えるよう検討されたい。
- (13) 狭あい道路については、予算規模を適正化し、効果が最大限発揮できるよう取り組まれたい。
- (14) 土地境界図等のDX化をさらに推進されたい。
- (15) 放置自転車等の対策ノウハウを、公園管理など他部門とも共有されたい。
- (16) 放置自転車の減少による放置自転車等対策業務委託の費用対効果の状況を鑑み、今後のあり方を検討されたい。
- (17) 道路維持管理予算は増額傾向にはあるが、課題も多く、必要な予算確保に努められたい。
- (18) 街路樹や草刈りの包括的民間委託にあたっては、市職員のスキルが失われないよう民間委託の範囲について十分に配慮されたい。
- (19) 交通に支障のある街路樹を362本伐採したとあるが、伐採にあたっては、様々な要望が寄せられている中、伐採後の対応も含めて、なお一層、要望に応えるべく対応されたい。
- (20) 「町田市街路樹更新計画」の内容について、広報まちだ等での市民への周知を行うこと。また、対象路線の関係市民に対する丁寧な説明や意見交換をされたい。
- (21) 「町田市街路樹更新計画」の取組にあたっては、温暖化対策や日陰効果、景観も考慮した対応を検討されたい。
- (22) 町田バスセンターに接続する下りのエスカレーターの「鳩の糞」への対応について、効果的な対策を講じられたい。
- (23) 地域格差のない支え合い交通の拡がりのため、協力団体、協力者の声を聞いて推進されたい。
- (24) 小さな交通が繋がり合い、動きたくなる、動きやすい交通網の構築を検討されたい。

- (25) 鶴川駅周辺まちづくりにおいては、障がい者団体等の意見を伺いながら推進されたい。
- (26) 相原駅東口まちづくりについては、民間資本の導入等を含め様々な手法を検討し、民間の土地と駅前交通広場等の公共施設の土地利用が一体的に図れるよう、連携して進められたい。
- (27) 「町田駅周辺開発推進計画」D地区については、森野住宅住民への説明会をJ K K東京と連携し、適時行われたい。
- (28) 公園に関する市民の声に対し、指定管理者との連携強化の上、的確なレスポンスをされたい。
- (29) 野津田公園スケートパーク「基本設計」の内容について、近隣住民や関係市民への説明会を適時行い、理解と合意が得られるよう努力されたい。
- (30) 野津田公園丘の上グラウンドの利用率向上に努められたい。
- (31) 近年の異常気象を考慮した調整池及び水路の管理計画の検討を図られたい。
- (32) 下水道の点検調査の計画を明確にして推進されたい。

次の意見は、賛成多数をもって可決したものである。

## 1 一般会計

(歳出)

土木費

- (33) 多摩都市モノレール基金積立金については利用時期を鑑み、適切な運用に努められたい。
- (34) まちっこについては、受益者負担率が7.5%と低いため、対応策を講じられたい。
- (35) 団地再生については、重点地域のみならず非重点地域についてもしっかりと取り組まれたい。

### 1. 認定第 2 号 令和5年度（2023年度）町田市下水道事業会計決算認定について

本委員会は、9月6日付託された上記議案審査の結果、下記の附帯決議を付し、「認定すべきもの」と決定しましたので報告いたします。

#### 記

- (1) 市民に負担を強いることなく、経費回収率を100%以上に高めるなど健全な財政運営に努められたい。

2024年9月19日

建設常任委員長  
森本 せいや

町田市議会議長  
木目田 英男 様